

Pianobox mini

チェッカー：内藤 節
(キーボーディスト/FOMIS)

オープンプライス(¥10,000前後)
問：榊ファインアシスト
TEL：052-325-6050
<http://www.fineassist.jp>

多彩なGM音源の音色を手軽に演奏できる コンパクトかつ軽量の音源モジュール

【製品概要】

「Pianobox mini」は、GM音源を搭載したコンパクトなMIDI音源モジュールだ。USBバスパワーで動作するので、本体とMIDIキーボードなどを接続するだけで、すぐに多彩な音色を演奏することができる。充電にも対応しており、1回の充電で最長5時間の連続使用が可能。また、リバーブも内蔵しており、演奏の響き具合を細かく調整できるのもポイントだ。

「Pianobox mini」は、手のひらサイズのMIDI音源モジュールです。スマホを2台重ねたくらいの厚さで非常に軽く、内蔵の充電電池によるバッテリー駆動も可能なので、手軽に持ち運べます。

本機を使って演奏を行なう場合は、USBケーブルで本体とMIDIキーボードを接続するだけで、非常に簡単です。パソコンとつなげてDAWソフトで打ち込みをしたいなら、本機のMIDIインと、オーディオインターフェイスのMIDIアウトを接続すればOKです。

本機の内蔵音色をひと通りチェックしてみると、全体的にアタック感のある、エッジの効いたサウンドキャラクターという印象でした。ハリのあるツブ立ちのいい音色は、ハードウェアならではの。収録されたサンプルのタイム感が若干短いので、本体のリバーブを「60」程度にすると、いい感じの出音になりました。

次に、DAWソフト上で打ち込みに使用してみると、ハードウェアの音源なので発音のレイテンシーを気にする必要がなく、同時発音数も64音と十分で、快適に曲作りを行なうことができました。GMフォーマット準拠で制作されている市販のMIDIデータを本機に読み込ませると、GM音源のシステムレベル1(*)に対応したデータが概ね問題なく再生できたので、一般的なMIDIデータであれば十分に活用できるでしょう。

また本機は128種類の音色以外に、ドラムキットの音源も用意されています。マニュアルに記載はありませんでしたが、標準的なドラムキットの他に、エレクトロ系やロック系など、ジャンルごとに9



* GM=General MIDIの略称。音色の配列や動作方式などが規定された、世界共通の音源規格。1991年に定義された「システムレベル1」と、1999年に定義された「システムレベル2」に分かれている



種類のプリセットが用意されています。本機を1台使うだけで、一般的なロックやポップスであれば、十分にオケを組み立てることができます。

本機は、音楽制作用の音源としてはもちろん、バッテリー駆動で手軽に持ち運べるので、ライブでの使用にも最適です。

1 視認性の優れたLEDのディスプレイの下に、3つのボタンと、音色選択などを行なうダイヤルがシンプルに配置されており、優れた操作性を実現している。

2 本体の側面には、左から順番に、ヘッドホン端子、MIDIイン(付属ケーブル使用)、USB端子、電源用のマイクロUSB端子、電源ボタンが配置されている。DAWソフト上で作業をする場合にはMIDIインを使用する。

【SPEC】 ●MIDI音源：128種類(GM対応音源モジュール) ●入出力端子：インプット、MIDIイン、USB、マイクロUSB、アウトプット(ヘッドホン兼用、3.5mmステレオミニ)
●電源：USB 5V 500mA、リチウム電池(内蔵) ●外形寸法：80(W)×107(H)×22(D)mm ●重量：0.19kg ●付属品：MIDIイン変換ケーブル、マイクロUSB変換ケーブル